

ふくせん本部より、今回の研修会の「追加資料」が届きましたのでお知らせします。

形式	テーマ	時間	目的
講義	住環境確保の重要性と他職種連携 (13:30~14:10)	40分	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が住み慣れた環境で生活を続けていくためには、安心できる住環境を確保した上で、必要となる各種介護サービスを提供していくことの重要性を理解する。 ● 安心できる住環境確保にあたって、連携することが望ましい各種専門職に求められる役割と連携のノウハウを理解する。
講義	他職種連携による住環境確保の事例紹介 (14:10~14:30)	20分	<ul style="list-style-type: none"> ● 他職種が連携したことで、利用者や家族等の満足度の高い住環境確保に繋がった実際の事例を学ぶことで、他職種連携の重要性を理解する。 ● 利用者の身体機能や疾病、住宅の状況等により、連携すべき専門職や求めるべき助言について理解する。 ● 福祉用具サービス計画書の活用ポイント(利用目標・留意点)を理解する。
休憩		10分	
演習	オリエンテーション (14:40~15:00)	20分	<ul style="list-style-type: none"> ● 演習の進め方を理解する。 ● グループ内での自己紹介を通じて、互いの職種と助言を求める内容を整理する。 ● グループ内での役割を決める。
	事例の検討(個人ワーク) (15:00~15:20)	20分	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例の内容を理解する ● 職種別の視点で安心できる住環境確保について検討する ● (福祉用具専門相談員のみ)福祉用具サービス計画書の利用目標と留意点を作成する
	事例の検討(グループワーク) (15:20~16:10)	50分	<ul style="list-style-type: none"> ● 他職種の意見を踏まえた、他職種連携による住環境の提案について意見交換を行う。 ● 他職種の専門性を理解し、他職種と連携することの効果を感じ取る。
休憩		10分	
演習	振り返り (16:20~16:40)	20分	<ul style="list-style-type: none"> ● グループとして提案内容を検討したプロセスを振り返り、各職種に求められている役割を全体で共有する。 ● グループワークにおいて検討したプロセスが実際のケースでも同様に実践するための留意点を検討・共有する。
	発表 (16:40~17:10)	30分	<ul style="list-style-type: none"> ● 他職種連携の効果、連携のポイントについて共有する。
講義	今後の他職種連携について (17:10~17:30)	20分	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修内容を振り返ることで他職種連携の重要性を認識し、参加者同士における今後の連携を促す。

